

# 宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所から 森林土木工事受注者の皆さまへお願い

県では、事故防止を図るために「第6次県工事事務所事故防止対策推進計画」及び「令和5年度工事事務所事故防止対策事業計画」を策定しております。令和5年度県工事事務所事故防止対策事業計画では、工事事務所の発生傾向を踏まえ、事務所ごとに安全管理目標及び具体的な取組を定めて、重点的に実施していくこととしております。

このことから、宮城県では、下記のとおり安全管理目標を設定し、目標達成のための具体的な取組を掲げ、事故防止に取り組んでいくこととしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

## 安全管理目標

### 労働災害について

- ・事故件数（軽微な事故を含む）、森林土木工事では「0件」を目標とする。  
（※過去5年間における発生件数：栗原管内12件うち森林土木工事0件）
- ・リスクアセスメントに取り組み、危険度リスクの軽減を図り、災害ゼロを目指します。

### 公衆災害について

- ・公衆災害の発生、森林土木工事では「0件」を目標とする。  
（※過去5年間における発生件数：栗原管内14件うち森林土木工事0件）
- ・全県で、埋設管接触事故が多発傾向にあることから、埋設物の確認を特に注意します。

## 具体的な取組

- 監督職員及び主任監督員による現場点検を月1回必ず行う。
- 昨年度、県内の森林土木工事において「転落」事故が発生したことから、危険の見える化や4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底、KYの実施状況など安全パトロール等を通じて指導する。
- 掘削作業を行う場合、埋設管接触事故が生じないように埋設管の有無について事前確認を徹底する。
- 「慣れ」や「慢心」が原因となる事故が多いことから、定期的に監督員が現場にて注意喚起を行う。

## 令和4年の事故事例

発生日時：令和4年12月19日（月）

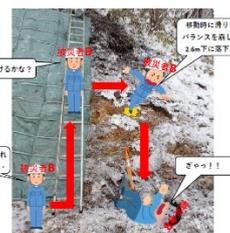
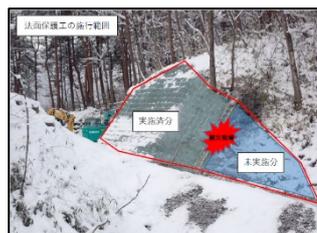
事故の型：転落

被災状況：頸椎損傷等の重症（全治期間不明）

事故状況：切土法面に植生マットの張付作業のため、

はしごを登っていたところ、足を滑らせて約2.6m下の地面に落下した。当時、3人1組で作業にあたっていたが、休憩指示を受けた後、被災者が自主的に作業を再開していた。

事故原因：漫然作業による事故発生、作業計画にない行動によるもの。など



## 各種紹介

- 「第6次県工事事務所事故防止対策推進計画」（宮城県事業管理課 HP）  
URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/dai6jisuisinnkeikaku.html>
- 「令和5年度県工事事務所事故防止対策事業計画」（宮城県事業管理課 HP）  
URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/reiwa5nennjigyoyoukeikaku.html>
- 「職場のあんぜんサイト」（厚生労働省 HP）  
URL：<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/#>
- 「エイジフレンドリーガイドライン」（厚生労働省 HP）  
URL：[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_10178.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10178.html)

QRコード

